



Rotary International District 2650 Nara Japan

奈良大宮ロータリークラブ

# Club Weekly Bulletin

■創立：昭和54年1月23日 ■例会：毎週火曜日 17:30  
■事務所：奈良市大宮町6丁目2-1 南都銀行大宮支店内 電話 0742-33-8583  
■例会場：奈良市高畑町1096番地 奈良ホテル本館 電話 0742-26-3300(代)  
■会長：矢追家麻呂 ■副会長：藤井正勝 幹事：石野捨雄



クラブ討論会 橋本社会奉仕委員長

## 会長報告

第11回定例理事会の報告をいたします。

- 残念なご報告ですが、榎木八洲夫会員から退会届が提出されました。5月31日付の退会を承認いたしました。榎木会員は13年間奈良大宮RCの会員としてご尽力頂き、また幹事もして頂きました。ご本人からは、退会の挨拶には来難いと伺っておりますが、記念品だけは幹事から届けることにいたします。
- 6月19日に年度末家族例会がありますので、6月21日に予定していましたクラブ協議会を、6月14日に変更いたします。
- 高辻会員の職業分類が「ビジネスホテル」から「不動産賃貸業」に変更になりましたので多田実職業分類委員長からも承認を頂き、理事会でも承認いたしました。
- 節電対策から、クールビズを前倒ししている役所・企業が増えてきています。当クラブでも来週の例会から10月末まで、クールビズの期間といたします。
- 本日受付に緑の羽根の募金箱を置きました。1つ幾らと決まっている訳ではありませんので、10,000円でも5,000円でも100円でも結構です。募金していただき、羽根をお持ち帰り頂きたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。
- 4月28日に東大寺福祉療育病院に車寄せを寄贈いたしました。我がクラブから、費用の一部を負担いたしました。本件に関しまして4月29日の読売新聞、朝日新聞に掲載されておりますので、それについては各テーブルに配布しております書類をご参照下さい。詳細は社会奉仕委員長よりご報告願います。

福祉療育病院に  
車寄せを寄贈  
奈良大宮RC

奈良大宮ロータリークラブのメンバーらが、奈良市の東大寺福祉療育病院に車寄せ（張り出し屋根、5ヶ所四方）を寄贈し、矢追家麻呂会長が28日、鷲尾隆元・同寺福祉事業団常任理事に目録を渡した。

同クラブが「地域密着の奉仕活動をしよう」と計画。病院は車いすに乗る障害者も多く通院するが、駐車場に雨よけがなく、車を降りてから病院に入るまでにずぶぬれになることも多かった。一帯は風致地区でこれまで増設は難しかったが、屋根を銅板ぶきとするなどして許可を取り、同クラブと会費で約200万円を出し合った。

矢追会長は「少しでも苦勞が解消できればうれしい」と話し、同病院の横林宣博名誉院長は「念願のものごできました」と喜んで

読売新聞 4月29日

発行日/2011年5月15日  
2010-2011/40

# Vol.32

No. 1552

HP: <http://naraomiya-rc.jp>  
E-mail: [info@naraomiya-rc.jp](mailto:info@naraomiya-rc.jp)

2010~11年度  
第2650地区のテーマ

『ロータリーを良く学び、  
変化を知り、  
忘れたことを思い出そう』

国際ロータリー第2650地区  
ガバナー 栗田 幸雄



## 四つのテスト

- 真実かどうか
- みんなに公平か
- 好意と友情を深めるか
- みんなのためになるかどうか

## 例会プログラム

第40回 5月15日  
通算1552回

移動例会「佐保川清掃」

## 例会状況報告

第39回 5月10日  
通算1551回

R.C.は出席から 1551回

- 会員数 69名
- 出席免除者数 24名
- 出席者数 52名
- 補填者数 -
- 出席率 86.7%

## 1549回の修正

- 会員数 69名
- 出席免除者数 24名
- 出席者数 53名
- 補填者数 4+1名
- 出席率 91.4%



◆子どもたちのために玄関に  
 屋根 東大寺境内(奈良市護国  
 町)にある東大寺福祉療育病院  
 の玄関に28日、車寄せ用の張り  
 出し屋根ができた。写真、車い  
 すに乗る入所・通院の子どもた  
 ちが雨にぬれずに入りにできる  
 ようにと、奈良大宮ロータリー  
 クラブ(矢追家麻呂会長)が建  
 設費200万円の大半を寄贈し  
 た。屋根は玄関から雨を振り出  
 している。雨が降るたび送迎の  
 自動車から降り降りする子ども  
 がぬれる、と聞いたクラブが「社  
 会福祉への貢献」として建設に  
 助いた。病院が風致地区にある  
 ため、屋根を銅板がきにして周  
 囲の景観にも配慮した。

朝日新聞 4月29日

## 委員会報告

### 藤井副会長

本日の状差しに私の最後の仕事となります情報集会のご案内をさせて頂いております。例年通り、「今年色々お気づきになったこと」「次年度へ一言申し送りしたいこと」をテーマにしたいと思います。班割は次年度常任委員長をそれぞれ班長に座って頂きまして、副班長にはその常任委員長の所属する委員会の委員長か副委員長にお願いしたいと思います。また、メンバーもその委員会に属する方を多く入れていると思いますので、ご協力お願い致します。

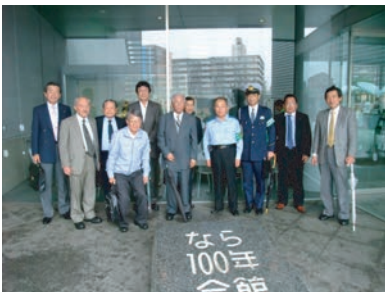
訂正ですが、第3班郡山萬花は6月2日で予定しておりましたが、年長者の方の集まりがあるということをお伺いしましたので、委員長・副委員長の確認を頂きまして6月9日(木)に変更したいと思いますので、そこだけお間違いのないようお願い致します。

最後の情報集会です。色々なご意見を伺いたいと思いますので、ご出席お願いしたいと思います。

### 社会奉仕委員会・橋本委員長

●4月28日東大寺福祉療育病院の雨避けの庇(車寄せ)が完成いたしましたので、会長・幹事・私の三人で協力金90万円を持って行きました。ちょうどその日雨が降っており、「庇があって良くなった」「子供達も喜んで」と、病院の方に喜んで頂きました。病院のご好意によりまして、協力金ではありましたが庇の柱に「寄贈・奈良大宮ロータリークラブ」というプレートを入れて頂きました。読売新聞・朝日新聞にも来て頂き、朝日新聞には写真も入れて頂きました。本当に皆様のご協力ありがとうございました。

●明日5月11日、春の交通安全週間市民決起大会が100年会館で行われます。是非御参加頂きますようお願い致します。100年会館の玄関前に9時集合です。



●5月15日の佐保川清掃では、先日来ご案内しておりますように、当日は移動例会も行われます。その時にお酒をお出し致しますので、飲酒運転は絶対になさらないようお願い致します。お酒を飲まずにお車で来られる方は、畑中さんのご好意により葉風泰夢の駐車場をご利用いただけます。機械式駐車場ですので、止められた際にチケット発券の上、フロントに持参して頂き必要な処理を受けて下さい。時間は24時間いつでもOKです。)

●東日本大震災により献血の不足について。震災当初は非常に皆さんの関心も深く、献血も多くて余るくらいだったようですが、それも減少傾向にあり、日赤から協力依頼がありました。6月16日(木)、前回同様近鉄奈良駅前ビルの東側にテントを設営し、行基像の辺りで献血の協力を行います。当日は義援金の募金活動も予定しています。皆さんに箱を持って頂き「やってくれ」とは言いませんので、テント内で誘導頂けたらと思います。メンバーの方で、病気や年齢で献血協力ができないという方は、是非義援金でご協力お願いしたいと思います。

### 井上会長エレクト

●本日例会終了後、次年度理事会を開催致しますので、理事役員の方は速やかに移動お願い致します。

●次年度からクラブの長期計画を地区に提出する必要があります。それに伴い、明日第一回目の長期計画委員会を開催いたします。委員メンバーは、矢追現会長、楠原次年度会長エレクト、多田廣R情報委員長/クラブ研修生、増井次年度幹事、私と、地区より熊本ガバナー補佐が出席されます。

●5月22日次年度第一回委員長会議を平城にて開催致します。各委員長は必ず次年度の方針を立てて頂き、発表頂きますようお願い致します。また、今年度の各委員長と引き継ぎを必ずして頂きますようお願い致します。

## 増井副幹事

- 次年度委員会活動方針及び計画書の提出は4/末までとなっておりますが、未だ半分の方しか提出頂いておりません。次年度は概況報告書を早く作成することになっておりますので、今週中にご提出頂きますようお願い致します。
- 次年度の地区協議会が14日に開催されます。参加者を発表いたしますので、ご出席お願い致します。（役職は次年度のもの）井上会長、増井幹事、多田廣クラブ研修L、北神クラブ管理運営常任委員長、楠木会員増強委員、佐川R財団常任委員長、武藤社会奉仕委員長、多田実奉仕プロジェクト常任委員長、矢追クラブ広報常任委員長、土谷米山委員長。

## 親睦活動委員会・宮西委員長

6月19日の年度末家族親睦例会の出欠確認表を回覧致しますので、ご記入お願い致します。奈良パークホテルにて開催予定ですが、送迎バスが近鉄奈良駅11:00発、近鉄学園前駅11:20発でございますので、バスご利用の方はそちらもご記入お願い致します。

## クラブ討論会

### 『大震災と社会奉仕』（社会奉仕担当）

#### ＜橋本社会奉仕委員長＞

本日は、これからの社会奉仕の在り方について、一度皆さん各自で見つめ直して頂きたいと思い、企画致しました。3月11日、あの震災に見舞われた後、地区社会奉仕委員会から何らかの話があるのか、或いは地区社会奉仕委員長より何らかの指示があるのか、と求めておりましたが、残念ながら何もありませんでした。それなら、地区大会でガバナーがどのようなことをおっしゃるかと思いましたが、被災者への黙とう、そして義援金のお話だけで具体的な活動方針が全くない。テレビ等で被災地の様子を伺うことはできますが、一度実態をこの目で見たい、私自身も家内の実家が阪神淡路大震災で被災し、テレビで観る虚像と実際では、大きく異なるというのを実感しましたので、是非、現地に行きたいと思い、「山歩きの会」などの折にその話をしたところ、強力なるご賛同を頂き、ゴールデンウィークを利用して活動することになりました。増井さんの車をお借りして行ったのですが、被災地の様子はもちろんのこと、そのウィンドー越しに見る東京の暗い光景等の詳細は、これからみなさんにご報告とともに、写真をご覧頂きたいと思えます。



#### ＜小池社会奉仕委員＞

委員長が「『社会奉仕とはなんぞや』ということをお願いしたい」とおっしゃいます通り、私もこの三十数年間様々な活動に携わってきましたが、この事態に何故ロータリアンが手を差し伸べないのか、と疑問を抱きました。理事会にかけたら、とアドバイスしましたが、それも通らず、「山歩きの会」でも提案しましたが、皆のスケジュールが合わず、合意が得られなかったため、橋本委員長・増井・向井・私の4人で計画いたしました。その後、向井さんの予定が合わず三人で、大災害の起った福島県南相馬市に行っていました。会長のお許しを得て、奈良大宮ロータリークラブのジャンパーを身にまとい、被災地では、増井さんの日本青年会議所のお友達に大変お世話になりました。

ここで定款・細則を読ませて頂きます。

【2010年手続要覧】第1章・奉仕部門。社会奉仕は、クラブの所在地域又は行政区域に居住する人々の生活の質を高めるために、ときには他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るものである。

【大宮RC細則】第10条・委員会の任務。第2節・奉仕プロジェクト委員会・b)社会奉仕委員会。この委員会は、本クラブの会員が、その地域社会に対する諸責務を遂行するうに役立つ指導と援助を与えるような方策を考案しこれを実施する。この委員会の委員長は、本クラブの社会奉仕活動に責任をもち、社会奉仕の諸特定分野について設置される次の小委員会の仕事を指導、監督しこれを調整する。1)・環境保全委員会。この委員会は、会員の事業所およびその地域社会における環境の質を高める方策を考案しこれを実施する。

ということ、謳っております。そして、今回行った『ボランティア』とは、「自主的に公共福祉などの社会事業に参加し、営利を目的としない活動に携わる人」ということになっております。

今回、東日本大震災でボランティア活動をしてまいりましたが、有志だけで活動を行うことに、いささか走り過ぎたのではないかと思います。国際ロータリー事務局に問い合わせました。すると、「なんら問題はありません。この件につきましては、RI2530地区に連絡してください」とのことでしたので、RI2530地区・地区幹事長 宍戸清和様に連絡いたしました。「4月29日、30日と南相馬鹿島町区にて津波に遭われた自宅の泥だしボランティアを行ってまいりました」と報告し、「関西からのボランティアはあまり参加されていないようですが、RI2530地区においてはどのようにされておられますか」とお伺いしましたところ、やはり「福島原発の事故がありましたので・・・」と言葉を濁されました。とにかく、原発事故があったため後の色々な対応ができない、

というような言葉づかいでした。そして、「5月8日午後より、RI2530地区次期ガバナーと本件について検討会議が開催されますので、また報告申し上げます」とのことでした。そして、「今回の暖かい、また力強いご援助、感謝申し上げます」と言って電話を切られました。その後の連絡はありません。

次に、1978-1979年度国際ロータリー会長・クレム レヌフ (Clem Renouf) 氏はこうおっしゃっています。「REACH OUT・・・」(手をさし伸べよう・・・)。今、我々には手を差し伸べる必要があるのではないかと思います。

「世界の近い未来がどうなるかは、我々の手中・・・他人のことに関心をもち、他人のために奉仕し、他人に向かって手をさし伸べる人々の手中にあります。ロータリアンとは奉仕のために両手を広げている人々、他人の生活を豊かにするために喜んでその手をさし伸べようとする人々のことでもあります。ロータリアンは、奉仕の道を切り拓く開拓者として、この75年の間、単にロータリークラブの会員であるというだけでなく、会員をまことのロータリアンとする実践行動によって、奉仕の冒険に果敢に挑んで来たのであります。この「行動する」ロータリアンは、未来の形成に寄与する自らの力を信じて、人間の必要とするものを満たそうと、その手をさし伸べるのであります。超我の奉仕ということは、ありふれた理念ではありません。同上、友情、理解といったものに乏しい世界にあっては、奉仕という理念はまれにみる貴重なものであって、われわれがそのために時間と能力を費やし、そのために自分のすべてを捧げるだけの価値のあるものであります。そこで皆さん、他人のために奉仕の手をさし伸べようではありませんか。われわれは全力を尽くそうではありませんか。来るべき年度において、私の祈りは同時に皆さんの祈りでもあると思いますが・・・その祈りとは、ヘレン ケラー (Helen Keller) が次のような言葉で述べているものであります。「われわれの祈るべきことは、自分の力にふさわしい任務が与えられることではなくて、自分の任務にふさわしい力・・・われわれの心の扉を永遠に叩きつづける大きな望みを抱いて前進する力が与えられることでなければならない。」>

これが、この年のテーマでした。そして当時のRI2650地区ガバナーでありました故杉山嘉一様が「Reach Out」と我々に向かって強くおっしゃった言葉が、いまでも耳の奥に残っております。いま、ロータリアンがみんな「手をさし伸べよう」として欲しいと思います。



本日計 41,000円 累計 2,181,000円

- 矢追家麻呂君** 本日、当法人が55周年を迎えました。56周年目指して頑張ります。
- 石野捨雄君** 本年度も残り、2ヶ月あまりになりました。今後共よろしく願います。
- 橋本和典君** 小池先生、増井さん本当にお世話になり有難うございました。被災地の現状を目のあたりにして言葉を失いましたね。でもお二人とも格好よく頑張ってはりました。これからも支援してあげましょう。ヨロシク。
- 小池恭弘君** 4月28日より5月1日まで福島県南相馬市鹿島地区東日本大震災による津波にて自宅が泥に埋まった自宅の泥だしをして参りました。想像を絶する災害に胸を打たれ言葉が出ませんでした。早く災害から立ち上がることを祈ります。5月5日に平城京で開催された、B級グルメ大会にて「ごちどり」増井氏が優勝されました、おめでとうございませす。
- 楠原忠夫君** 小池さん、橋本さん、増井さん 南相馬市ボランティア活動ごくろうさんでした。
- 植倉一正君** 5月8日山歩き会で、熊野参詣道小辺路Ⅱ。大股から三浦口まで歩いてきました。途中伯母子岳(1,344m)へ立寄り、山頂からの360度の展望を楽しみました。山歩き会の皆さん、お疲れさんでした。
- 金星昇君** 喜寿のお祝ありがとうございました。お蔭様で、毎日元気で過ごさせて頂けてありがたいと日毎感謝感謝です。
- 柴田直三君** 結婚記念のお祝いありがとうございました。
- 松岡弘樹君** 結婚記念日のお祝いありがとうございました。
- 植村将史君** 半年ぶりにGOLFに行き、生まれて初めて70でまわりました(ハーフですが・・・)しばらく中條さんとは目を合わせない事にします。谷川さん、山本さん、武中さんありがとうございました。
- 中村信清君** 前回欠席のお詫びに
- 渡辺英孝君** ニコニコ協力
- 今崎和民君** ニコニコに協力

次週の例会  
5月24日(火)

卓話 楠原 忠夫 会員  
「歯の健康」から「全身の健康」へ～これからの口腔保健～